

ハイチのコレラ感染に帰国する。

拡大を受け、長崎大熱帯医学研究所の山本太郎教授（竹原市出身、熱帯医学・国際保健）が8日、国際医療ボランティア団体AMDA（本部・岡山市北区）緊急医療チームの一員として現地へ出発する。AMDAチームへの参加は初めて。「患者の治療と、疫病を予防する『社会的ワクチン』となりうる正しい知識の普及に努めたい」と抱負を語る。

9日、首都ポルトープランスに入る。1日訪れた。今回はその経験を買われ、参加を求められた。5日に追加派遣された。AMDAに敬意を感じていた。島市南区）救命救急センターの朴範子部長たちと合流し活動、20日



山本太郎教授

### コレラ感染広がるハイチへ

## 山本教授「防疫知識を普及」

### AMDA派遣 きょう出発

を断ち切れるという。「水道、トイレが整っていけば容易なこと。現地の状況が問題」と衛生環境を心配する。ハイチには2003年、エイズウイルス（HIV）研究で滞在。ことし1月の大地震直後にも国際緊急援助隊医療チームとして

（平川勝憲）